

# クラウドストレージにより 生産性が低下？

BY CLOUD STORAGE DECLINIG PRODUCTIVITY ?

必要なデータへ  
誰もが辿り着くための仕組みとは



# クラウドストレージへの移行が重要視される現代のビジネス環境

働き方改革や感染症対策も相まって、現代のビジネス環境は場所に縛られないリモートワークが普及し、一定の定着を見せています

また、リモートワークの生産性と安全性を高めるためにクラウドサービスの利用率が上がっており、その中でも利用されやすいサービスとして「クラウドストレージ」が挙げられるのではないのでしょうか。クラウドストレージにファイルを配置することで、インターネットに接続できればファイルへアクセスできる環境が整うためです。

## しかし、クラウドストレージの利用を開始すると

「これまで当たり前前にできていたことができない」  
「利便性が低下してしまった」

といった状況になってしまうケースも見受けられます。



当資料では

- ✓ クラウドストレージを利用する上での課題や解決策
- ✓ 効率的なクラウドストレージの活用方法

をご提案します

## 目次 //

- P002 クラウドストレージへの移行が重要視される現代のビジネス環境
- P003 なぜクラウドストレージへの移行が必要なのか
- P004 クラウドストレージへ完全移行した場合の課題
- P005 意図的にオンプレミスのファイルサーバーを残す場合の課題
- P006 クラウドストレージを活用する上でデータの検索性は極めて重要
- P007 ではどうすればいいのか？
- P008 Neuron ESで柔軟で高速なファイルアクセスを実現
- P009 分析機能による管理者・企業全体へのベネフィット
- P010 Neuron ESによる大きな効果をぜひ体験してください！

# なぜクラウドストレージへの移行が必要なのか

多くの企業ではオンプレミスのファイルサーバーからクラウドストレージへの移行を進めています。ファイルを保存し、従業員がアクセスするだけであれば、オンプレミスのファイルサーバーでもよいはずですが。

## なぜ、クラウドストレージへの移行を進めるのでしょうか？

### クラウドストレージへ移行する理由

#### セキュリティ



オフィスネットワークに施している境界型防御では、サイバー攻撃に突破されてしまうリスクがある

#### テレワーク



従業員の自宅などからオフィス内のファイルサーバーへアクセスするためには、VPN装置の設置やファイアウォールの設定等、手間やコストが掛かる

#### 運用コスト



オンプレミスのファイルサーバーは物理機器の構築や更改、運用保守が必要となる



左図内の理由を主として、多くの企業にとってクラウドストレージへの移行は重要な業務改善と言えます。



しかし、クラウドストレージを契約し、ファイルを配置するだけでは問題も起こります。

### クラウドストレージへ移行した場合



どのような**課題**が発生するのでしょうか？

NEXT PAGE 

# クラウドストレージへ完全移行した場合の課題

クラウドストレージへの移行を行なうと、移行前には気づかなかった問題が発生するケースがあります。クラウドストレージの活用自体は企業にとって重要ですが、生産性に悪影響が出てしまう状況は避けなければなりません。

## クラウドストレージ移行の落とし穴

### ファイル検索に時間を浪費



- ❗ 全文検索できない
- ❗ 意図した検索結果がでない
- ❗ 検索オプションが少ない

### ファイルサーバーの方が使いやすい



- ❗ 操作性が良い
- ❗ UIがわかりやすい、慣れている

また、オンプレミスとクラウドストレージのハイブリッド運用では別の問題が生じます。



### ➤ NEXT PAGE

ハイブリッド運用では、どのような**問題**があるのでしょうか？

# 意図的にオンプレミスのファイルサーバーを残す場合の課題

機密情報の取り扱いルールなど企業の方針により、クラウドストレージへの完全移行はせず意図的にオンプレミスのファイルサーバーを残すケースにも課題が残ります。保存場所が複数存在する状態は、ミスや古いファイルの移行忘れにより、期待した場所にデータが保存されていないことが起こり得ます。

## ハイブリッド運用の課題

### 統制が取れない

保存場所は  
ここでいいんだっけ？



クラウドストレージ



オンプレミスファイルサーバー



### データが分散する

目的のデータが  
見つからない・・・



クラウドストレージ



オンプレミスファイルサーバー



日本企業では、アクセス制限や権限を厳重に管理し、不正自体を防止する考えが一般的です。一方、北米系企業を筆頭に海外企業は、不正が起きた場合には該当の従業員に責任を取らせる（解雇する）といった考えが主流のようです。このような考え方の違いもあり、日本企業では柔軟な設定ができるオンプレミスにデータを残す判断が行なわれやすいと考えられます。

### POINT

オンプレミスを残すこと自体は企業の想定通りであっても、実業務では生産性の低下に繋がってしまうケースが考えられます。



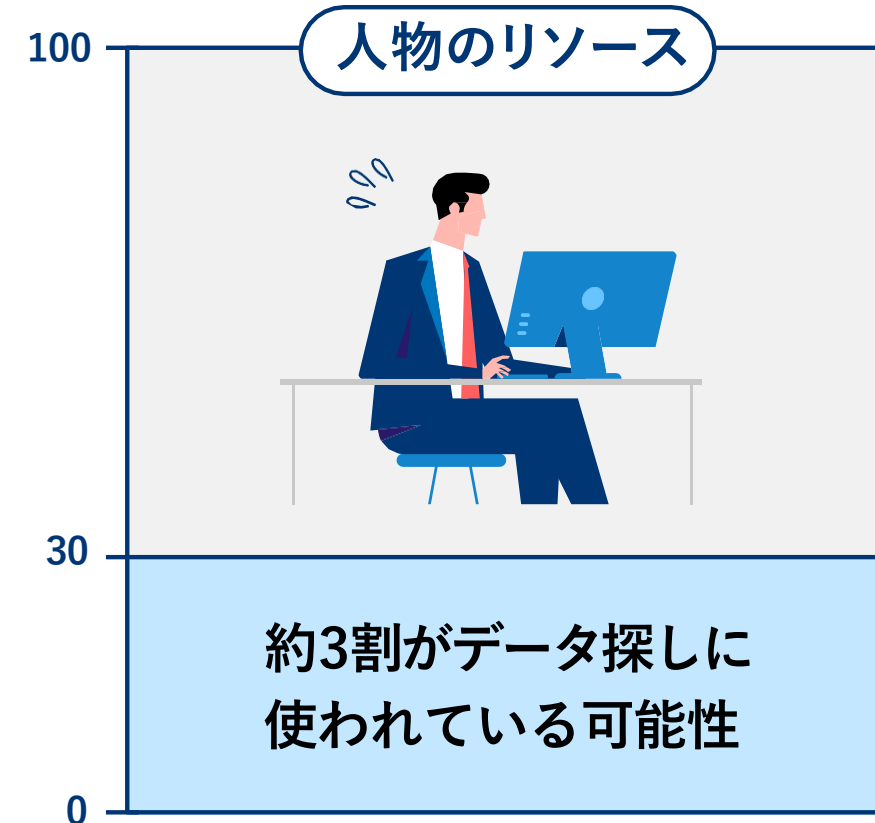
# クラウドストレージを活用する上でデータの検索性は極めて重要

環境によりそれぞれ課題がありますが、それにより深刻な問題が引き起こされます。

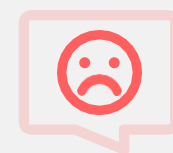


必要なデータへ辿り着きにくく、従業員のリソースが浪費されてしまう

## 貴重なリソースがファイル探しに奪われる



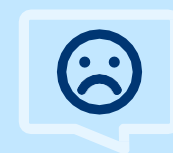
### 価値の高いコア業務



リソースが足りない！



### ファイル探し



すぐにファイルが見つければ  
不要な作業

## POINT

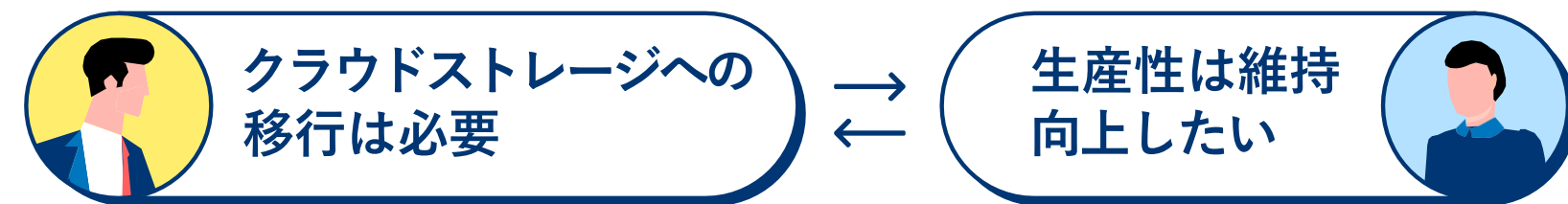
米Google社が公開している情報では、業務中に必要な情報を探し出すために、一般的な業務時間の3割を使っているというデータがあります。※1

データへアクセスしにくい環境ではさらにデータ検索の時間が増加してしまい、コア業務へ注ぐべきリソースは大きく削減されてしまいます。

※1 出典：[https://static.googleusercontent.com/media/www.google.com/en/us/enterprise/search/files/Internal\\_Search\\_ROI.pdf](https://static.googleusercontent.com/media/www.google.com/en/us/enterprise/search/files/Internal_Search_ROI.pdf)

# ではどうすればいいのか？

「クラウドストレージへの移行は必要、しかしそれでは生産性の低下が懸念される」



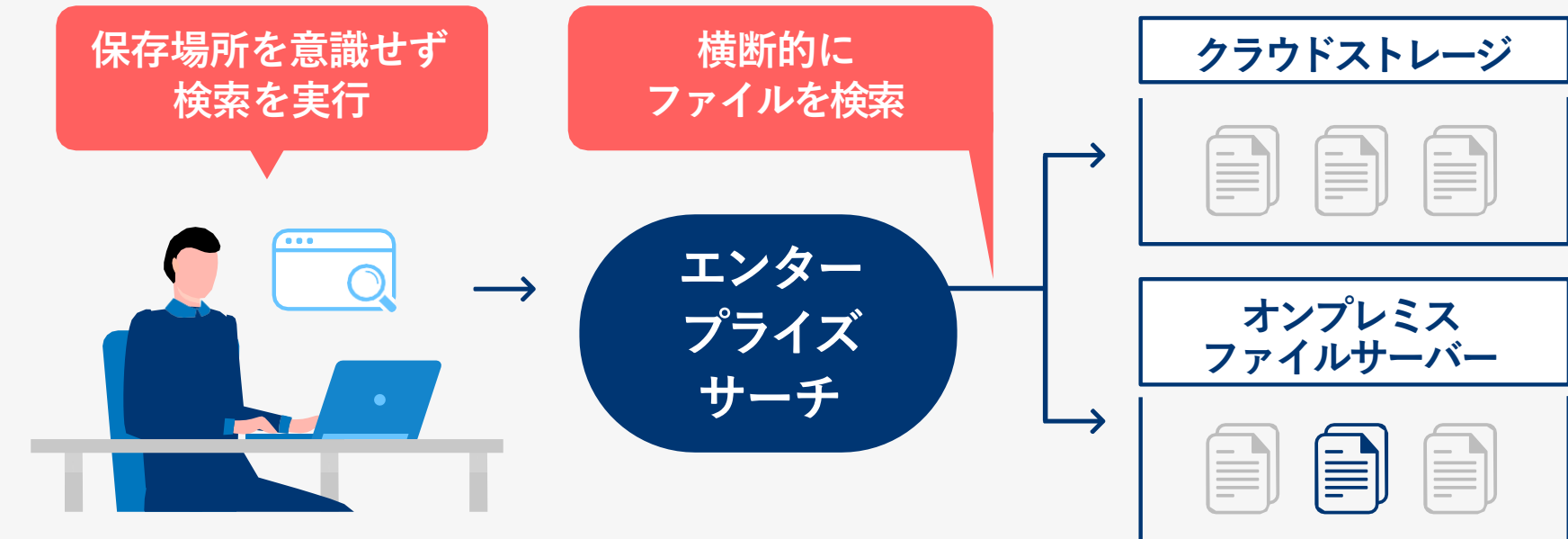
この状況を  
解決するためには

データに対する高い検索性を実現する  
「エンタープライズサーチ」が必要



## エンタープライズサーチとは

エンタープライズサーチと呼ばれる企業内検索エンジンでは、クラウドストレージやオンプレミスのファイルサーバを横断的に検索することが可能です。これにより、利用者はデータがどこに保存されているのかを気にすることなく、ひとつの画面で企業が保有するデータを一括検索することができます。



**POINT** > データの置き場所に影響されず必要なデータへアクセスできる手段があれば、データ検索に費やされるリソースは削減され、本来の業務へ注力することが可能となります。

# Neuron ESで柔軟で高速なファイルアクセスを実現



## 01 必要なデータへすぐにアクセスできる検索性

- ✓ 一般的な検索サービスのようにシンプルなインターフェース
- ✓ ソートや絞り込みなど、各種検索オプション搭載

## 02 サイズ上限の無い全文検索

- ✓ 容量無制限の全文検索によりデータを漏れなく検索

## 03 関係者の名前表示

- ✓ ファイルの作成者や更新者が表示されるため、検索した事柄に詳しい人物を見つけられる

### 検索沼にはまらない

検索ワードが悪いのか・・・  
保存場所が違うのか・・・



検索にヒットしなければ  
**データは無い**と諦められる

### コミュニケーションの活性化

誰が詳しいのかわからない・・・  
テレワークでは  
気軽に質問できない・・・



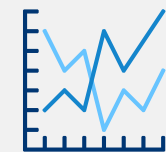
**聞くべき相手**がわかる  
データに記載されていない  
情報を得られる可能性も

# 分析機能による管理者・企業全体へのベネフィット

Neuron ESの利用状況をレポートとして表示することで、管理者は需要の高い検索ワードや、検索にヒットしなかった情報を確認することができます。

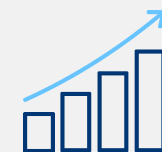
## レポート機能

### Neuron ESの利用状況



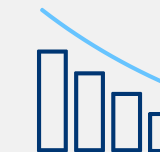
検索機能がどれだけ  
利用されているのかを確認

### 検索ワードランキング



需要の高い情報を把握

### ヒットしなかった検索ワード



不足している情報を把握

### 参照される文書ランキング



検索意図にマッチしている  
文書を把握

### 検索される場所ランキング



情報を求められている  
部署やプロジェクトを把握

**POINT** > 実務ではどのような情報が求められているのかを把握することで、不足している情報の補完や従業員の関心事を理解することに繋がります。

# Neuron ESによる大きな効果をぜひ体験してください！

クラウドストレージの利用状況は企業により様々ですが、顕在化しやすい共通の悩み事があります。

クラウドストレージ完全移行済み

オンプレミスとのハイブリッド



ファイル探しに時間を浪費したくない

パナソニック デジタルが提供するエンタープライズサーチソリューション「Neuron ES」はこれまで多くの企業の課題であったクラウドストレージの利用環境を効率化するソリューションです。

OSSである全文検索エンジン「Apache Solr」を使用したNeuron ESは、高品質な検索機能とコストダウンを両立しています。

お気軽にお問い合わせください

導入の効果を実感していただくために評価版のご提供も行なっておりますので、お気軽にお問い合わせください。

[製品ページはこちら](#)



ご連絡先

<https://service.digital.panasonic.co.jp/contact>

パナソニック デジタル株式会社